

つなげよう!  
まおう! あomorいのかわとみち



# 青森河川国道ニュース



お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38  
地域づくり相談室 TEL017-734-4529 FAX017-722-2577

ご意見は  
こちらまで

平成21年 3月 4日(水) 第74号



1952年(昭和27年)の今日、北海道襟裳岬東方沖約50kmでマグニチュード8.2、最大震度6の地震が発生しました。十勝沖地震です。日本近海で発生した地震としては、20世紀以降、最大規模と言われています。

北海道南部から東北北部にかけての揺れや津波による人的被害は、28人が死亡、5人が行方不明、重軽傷者は287人に上りました。家屋被害は、全半壊や一部損壊を含め8,500棟を超え、そのほかにも流失や浸水、焼失などの被害も数多くありました。青森でも八戸市で2mもの津波が押し寄せたのです。

人が揺れを感じるような地震の発生後は、必ず津波に関する情報が出されます。津波発生のおそれの有無に加え、津波注意報や警報まで、繰り返し海岸や河口付近に近づかないよう、高台に避難するよう呼びかけます。それは一体なぜなのでしょう。

よく耳にする津波注意報の予測値は50cmです。数値だけを聞くと、たいしたことはないように感じてしまうかもしれませんが、津波が押し寄せてきた場合、大人でも30cmで何かにつかまっていけないと立ってられないような状態になり、50cmでは足下をすくわれてしまいます。徐々に水位が上昇するのではなく、0から次の瞬間にはいきなり50cmですから無理ありません。何も無かったところに水壁が、土砂や流木など様々な物を巻き込みながら襲ってくるのです。

それだけ、普通の波と津波は違うのだということです。たとえ、予測値がそれほど高くない場合でも、津波は軽視できないのです。

## あの日の記憶

### 津波注意報・津波警報の発表があった場合には・・・

#### 1. 海に近づかないこと。

海が深いほど高さは低く速度は速く、海が浅いほど高さは高く速度は遅く伝わります。海岸で津波を目視してから、迫ってくる津波から逃れるのではとても間に合わないのです。まして見物などもってのほかです!

#### 2. 必要に応じた適切な行動をとること。

津波は、陸上に遡上してくる場合があります。急いで高台や堅固な建物の上など、安全な場所に避難しましょう。とにかく、波よりも高く!

#### 3. 解除まで気を緩めないこと。

津波が押し寄せるのは1度きりではありません。2度3度とやってきます。初めより後の方が大きな波になる場合もあります。油断は禁物です!

